

結果概要

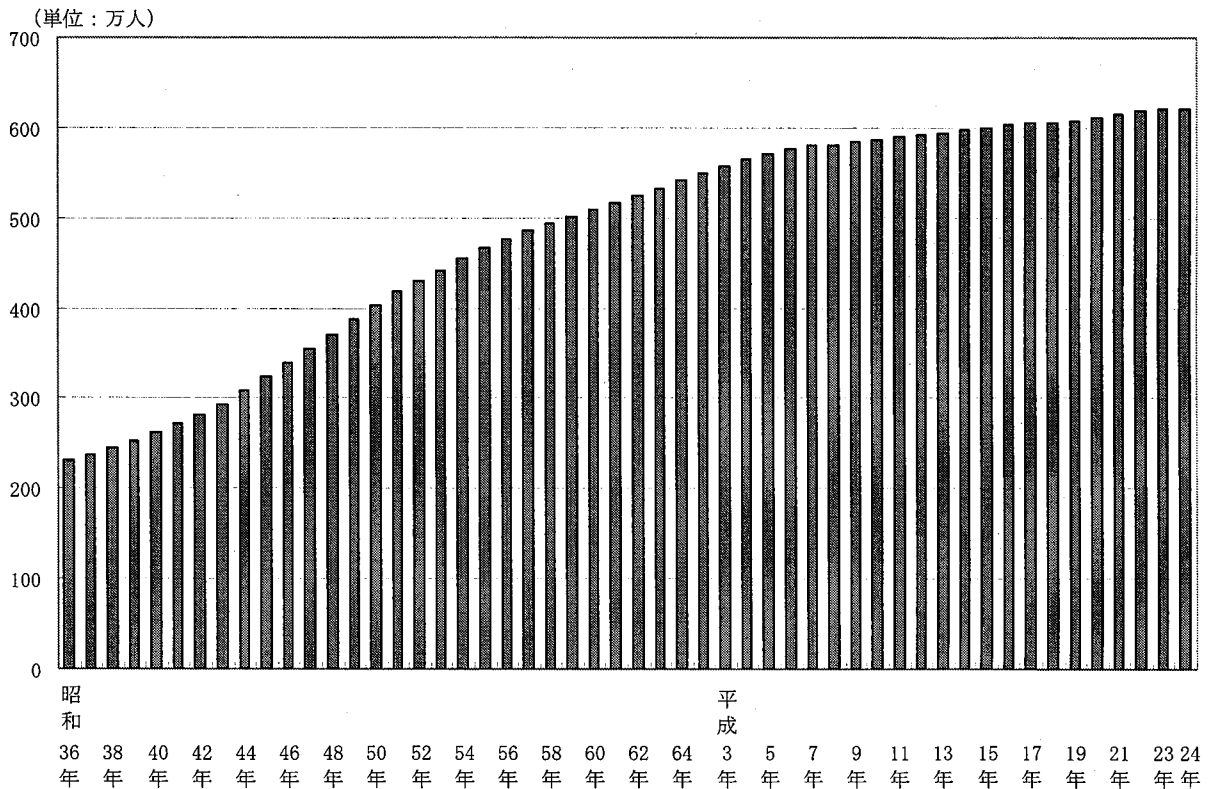
1. 人口総数

県人口 620 万人

平成 24 年 1 月 1 日現在の本県の人口は 6,206,334 人で、前年人口の 6,217,027 人に比べ 10,693 人、率にして 0.17%減少した。本県の人口は、大正 9 年 10 月 1 日現在（国勢調査）1,336,155 人で、その後増加を続け、昭和 49 年 11 月 1 日現在では 400 万人を超えて、4,002,808 人となった。さらに、昭和 58 年 10 月 1 日現在では 500 万人を超え 5,002,542 人となり、平成 14 年 9 月 17 日に 600 万人を突破したが、平成 23 年は前年と比べ初めて減少に転じた。

平成 22 年国勢調査によると、本県の人口は、6,216,289 人で全国第 6 位となっている。

図 1 千葉県人口の推移（昭和 36 年～平成 24 年、各年 1 月 1 日現在）



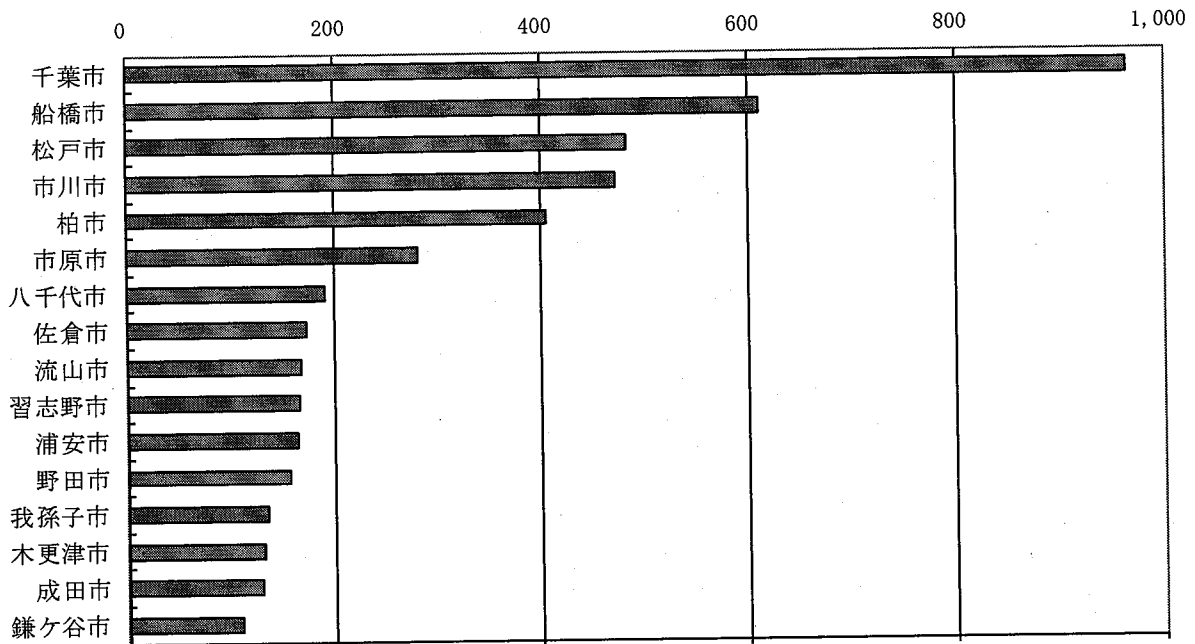
千葉市人口 96 万 2 千人
県人口の 15.5% を占める

平成 24 年 1 月 1 日現在の県人口を市町村別にみると、市部 (36 市) のうち 10 万人以上の市は 16 市あり、そのうち千葉市が 962,988 人 (県人口に占める割合 15.5%) で最も多く、郡部人口 269,712 人 (同 4.3%) の約 3.6 倍となっている。以下、船橋市 610,411 人 (同 9.8%)、松戸市 482,520 人 (同 7.8%)、市川市 470,323 人 (同 7.6%)、柏市 405,099 人 (同 6.5%) の順で続き、この 5 市で県人口の 47.2% を占めている。

郡部 (17 町 1 村) では、大網白里町が 50,126 人 (同 0.8%) で最も多く、以下、横芝光町 24,362 人 (同 0.4%)、栄町 22,125 人 (同 0.4%)、酒々井町 21,175 人 (同 0.3%)、九十九里町 17,560 人 (同 0.3%) の順となっている。

図 2 10 万人以上の市

(単位: 千人)



2. 人口増減

人口増減数 -1 万人
増減率 -0.17%

平成 23 年中の本県の人口増減は、増減数 -10,693 人、増減率 -0.17% で、前年 (29,708 人、0.48%) より減少した。

近年の人口増減の推移を増減率で見ると、昭和 42 年から 49 年までは 4% 以上の増加率であったが、昭和 57 年からは 1% 台で推移、平成 5 年には 1% を割り、平成 23 年は初めてマイナスに転じ、-0.17% となった。

自然増減数は減少

平成 23 年中の自然増減は、増減数 -523 人 (出生 51,294 人、死亡 51,817 人) で、前年の 2,248 人 (出生 52,625 人、死亡 50,377 人) に比べ出生が 1,331 人減少し、死亡が 1,440 人増加して自然増減数は前年に比べ 2,771 人減少した。

近年の自然増減を増減率 (各年 1 月 1 日現在人口に対する自然増減総数の割合) でみると、昭和 42 年から 54 年までは 1% 以上の増加率であったが、昭和 55 年に 1% を割り、平成元年以降は 0.5% を下回って推移していたが、平成 23 年は初めてマイナスに転じ、-0.01% となった。

社会増減数は減少

平成 23 年中の社会増減は、増減数-10,170 人（転入 167,006 人、転出 178,424 人、県内の移動-342 人、その他 1,590 人）で、前年の 27,460 人（転入 183,829 人、転出 171,160 人、県内の移動 2 人、その他 14,789 人）に比べ転入が 16,823 人減少し、転出が 7,264 人増加し、県内の移動が 344 人減少し、その他が 13,199 人減少して、社会増減数は前年に比べ 37,630 人減少した。

近年の社会増減を増減率（各年 1 月 1 日現在人口に対する社会増減総数の割合）でみると、昭和 37 年から昭和 50 年までは 2%以上の増加率で、そのうち昭和 44 年は、3.97%と 4%に近い高い増加率であったが、昭和 51 年以降は 1%前後の増加率で推移し、平成 2 年以降は 1%を下回って、平成 23 年は-0.16%となった。

(単位：%)

図3 人口増減率の推移（昭和 36 年～平成 23 年）

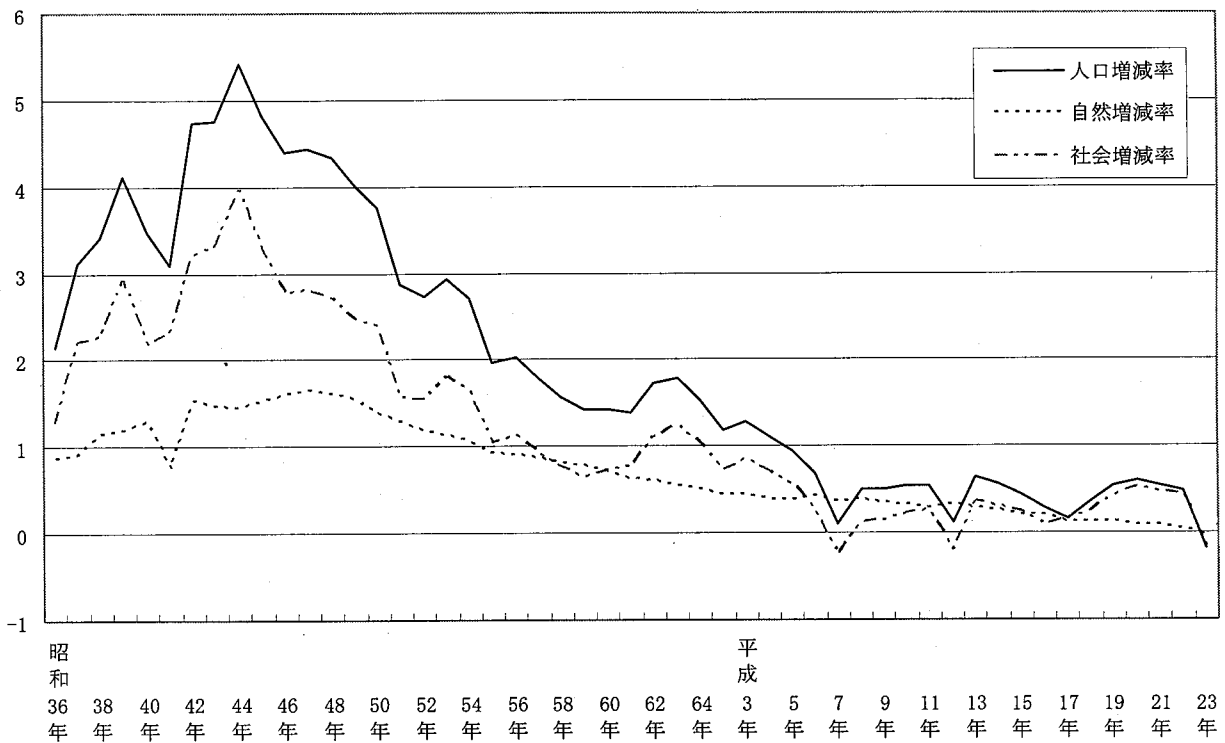


表 1 月別動態別人口増減数（平成 23 年中）

(単位：人)

	人口増減数	自然増減			社会増減				
		増減数	出生	死亡	増減数	転入	転出	県内の移動	その他
1 月中	-1,438	-1,079	4,482	5,561	-359	10,318	10,721	-97	141
2 月中	-1,778	-374	3,950	4,324	-1,404	10,559	11,747	-295	79
3 月中	522	-297	4,349	4,646	819	30,077	29,071	-518	331
4 月中	1,871	-207	3,914	4,121	2,078	24,980	23,381	449	30
5 月中	-160	89	4,491	4,402	-249	13,664	14,208	221	74
6 月中	-788	454	4,363	3,909	-1,242	11,007	12,202	-54	7
7 月中	-1,878	496	4,268	3,772	-2,374	11,526	13,948	-162	210
8 月中	-757	433	4,718	4,285	-1,190	12,407	13,990	271	122
9 月中	-801	629	4,492	3,863	-1,430	11,027	12,693	-96	332
10 月中	-1,113	32	4,353	4,321	-1,145	11,757	12,939	-69	106
11 月中	-1,404	-32	4,185	4,217	-1,372	9,893	11,341	-73	149
12 月中	-2,969	-667	3,729	4,396	-2,302	9,791	12,183	81	9
計	-10,693	-523	51,294	51,817	-10,170	167,006	178,424	-342	1,590

注) その他とは、職権による記載・消除等をいう。

17市町村で人口増加

最高増減率は四街道市 1.24%

平成 23 年中の人口増減を市町村別にみると、17 市町村で人口が増加し、37 市町で減少した。増加数では、流山市 1,882 人で最も多く、以下、船橋市が 1,304 人、四街道市 1,080 人、

成田市 697 人、鎌ヶ谷市 659 人と続いている。逆に、減少数では市川市が 2,631 人で最も多く、以下、松戸市 1,916 人、浦安市 1,423 人、銚子市 1,190 人、香取市 1,033 人の順となっている。

また、人口増加率では四街道市が 1.24% で最も高く、以下、流山市 1.14%、印西市 0.67%、鎌ヶ谷市 0.61%、白井市 0.55% と続いている。逆に、減少率では長南町が 2.12% で最も高く、以下、九十九里町 2.00%、勝浦市 1.92%、芝山町 1.88%、銚子市 1.70% の順となっている。

表 2 人口増減数上位 5 市町村 (平成 19 年～平成 23 年)

順位	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
	市町村	増加数 ^人	市町村	増加数 ^人	市町村	増加数 ^人	市町村	増加数 ^人	市町村	増加数 ^人
1	船橋市	10,732	千葉市	10,541	船橋市	7,907	船橋市	7,711	流山市	1,882
2	千葉市	7,092	船橋市	6,727	千葉市	7,433	柏市	6,804	船橋市	1,304
3	柏市	3,897	松戸市	3,829	柏市	5,038	千葉市	5,956	四街道市	1,080
4	白井市	2,522	柏市	3,797	松戸市	3,081	木更津市	3,401	成田市	697
5	八千代市	2,076	浦安市	2,985	流山市	2,779	習志野市	3,152	鎌ヶ谷市	659

順位	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
	市町村	減少数 ^人	市町村	減少数 ^人	市町村	減少数 ^人	市町村	減少数 ^人	市町村	減少数 ^人
1	銚子市	1,214	銚子市	1,220	銚子市	1,121	市川市	2,170	市川市	2,631
2	香取市	1,144	香取市	1,133	香取市	879	八街市	1,821	松戸市	1,916
3	君津市	694	山武市	713	山武市	609	匝瑳市	733	浦安市	1,423
4	富津市	603	南房総市	590	南房総市	514	富里市	582	銚子市	1,190
5	山武市	573	富津市	492	茂原市	431	横芝光町	518	香取市	1,033

表 3 人口増減率上位 5 市町村 (平成 19 年～平成 23 年)

順位	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
	市町村	増加率 [%]	市町村	増加率 [%]	市町村	増加率 [%]	市町村	増加率 [%]	市町村	増加率 [%]
1	白井市	4.62	印西市	3.46	印西市	3.39	木更津市	2.70	四街道市	1.24
2	本埜村	4.13	白井市	2.77	流山市	1.75	習志野市	1.95	流山市	1.14
3	印旛村	3.08	印旛村	2.55	白井市	1.53	流山市	1.78	印西市	0.67
4	船橋市	1.86	浦安市	1.87	印旛村	1.42	柏市	1.71	鎌ヶ谷市	0.61
5	成田市	1.36	流山市	1.44	船橋市	1.33	白井市	1.66	白井市	0.55

順位	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
	市町村	減少率 [%]	市町村	減少率 [%]	市町村	減少率 [%]	市町村	減少率 [%]	市町村	減少率 [%]
1	長南町	1.79	勝浦市	1.93	鋸南町	2.02	八街市	2.43	長南町	2.12
2	銚子市	1.65	鋸南町	1.91	長南町	1.73	神崎町	2.27	九十九里町	2.00
3	鋸南町	1.59	栄町	1.70	栄町	1.70	大多喜町	2.21	勝浦市	1.92
4	栄町	1.57	銚子市	1.69	勝浦市	1.65	横芝光町	2.06	芝山町	1.88
5	大多喜町	1.56	東庄町	1.63	銚子市	1.58	睦沢町	1.96	銚子市	1.70

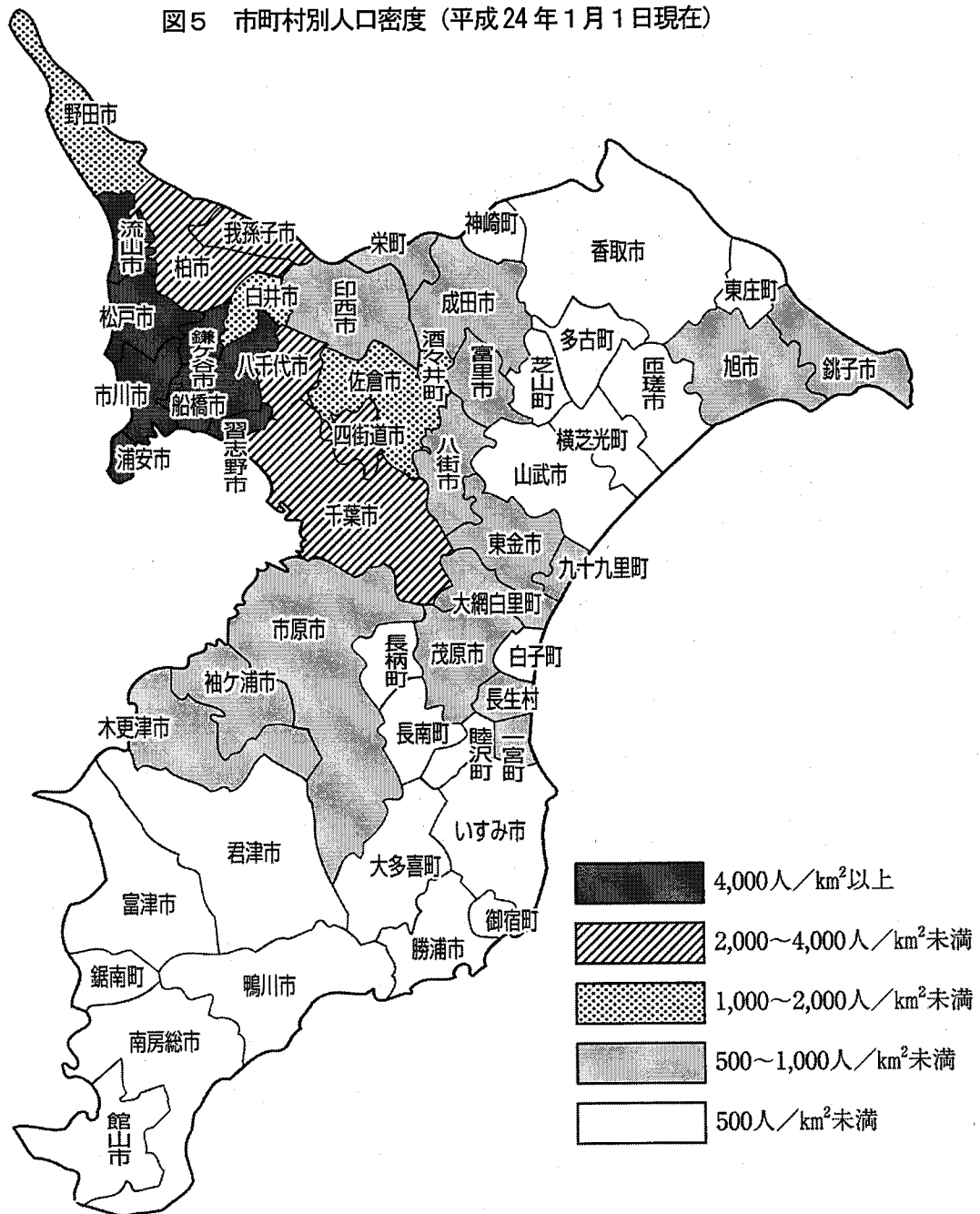
3. 人口密度

県人口密度 1,203.6 人/km²
 市町村別人口密度は浦安市が
 9,457.0 人/km²で最高

本県の人口密度は、平成24年1月1日現在1,203.6人/km²で、前年の人口密度(1,205.6人/km²)に比べ2.0人/km²低くなった。市郡別にみると、市部1,365.6人/km²、郡部333.3人/km²で、市部は郡部の約4.1倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が9,457.0人/km²で最も高く、以下、市川市8,193.8人/km²、習志野市7,880.8人/km²、松戸市7,867.6人/km²、船橋市7,127.6人/km²と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町80.8人/km²、長南町135.0人/km²、長柄町167.5人/km²、芝山町178.0人/km²、南房総市180.0人/km²の順となっている。

図5 市町村別人口密度 (平成24年1月1日現在)



4. 人口性比

県人口性比 99.2

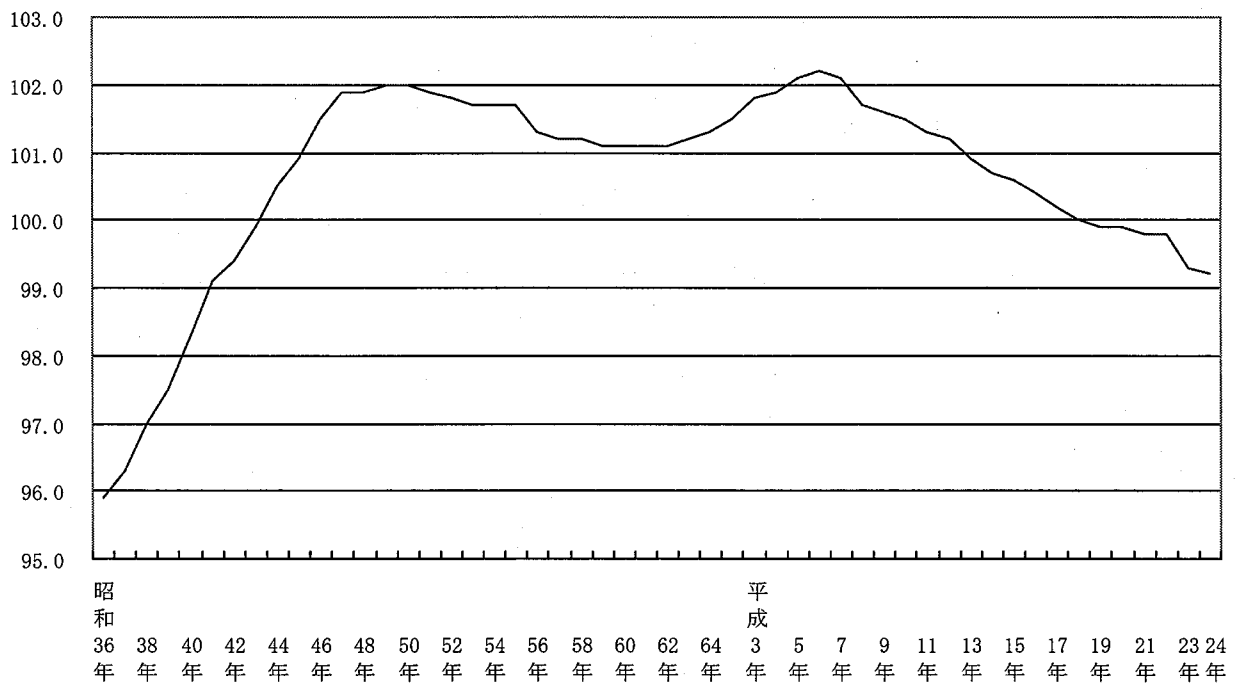
平成 24 年 1 月 1 日現在の本県の人口を男女別にみると、男 3,091,048 人、女 3,115,286 人で男が女に比べ 24,238 人少なく、人口性比（女 100 人に対する男の数）は、99.2 で前年（99.3）に比べ 0.1 ポイント減少した。

人口性比を市町村別にみると、市原市の 104.4 が最も高く、以下、勝浦市 104.2、君津市 103.9、習志野市 102.1、袖ヶ浦市 102.0、逆に最も低いのは御宿町の 89.1 で、以下、睦沢町 89.6、鴨川市 89.8、南房総市 90.0、館山市 91.5 となっている。

100 以上の市町村は 14 市町で、100 未満の市町村は 40 市町村となっている。

昭和 36 年以降の人口性比の動きを各年 1 月 1 日現在でみると、95.9 から上昇し続け、昭和 44 年にはじめて男性人口が女性人口を上回り人口性比が 100 を超え、平成 6 年には、過去最高の 102.2 となった。その後は徐々に下降し、平成 19 年以降は再び 100 を下回っている。

図6 人口性比（昭和36年～平成24年、各年1月1日現在）



5. 世帯数

県世帯数 253 万世帯
1 世帯当たり人員は 2.45 人

平成 24 年 1 月 1 日現在の本県の世帯数は 2,533,343

世帯で、前年の世帯数 2,517,792 世帯に比べて 15,551 世帯増加し、増減率では 0.62% となり、人口増減率 -0.17% よりも高い率となっている。

1 世帯当たり人員は 2.45 人で、前年の 2.47 人に比べ 0.02 減少した。また、1 世帯当たり人員を市町村別にみると、東庄町の 3.25 人が最も多く、以下、芝山町・長南町 3.14 人、多古町 3.08 人、匝瑳市 3.02 人と続き、逆に最も少ないのは市川市の 2.15 人で、以下、勝浦市 2.24 人、松戸市 2.30、浦安市・船橋市 2.32 人の順となっている。

県の 1 世帯当たり人員より少ないのは 12 市町で、多いのは 42 市町村となっている。

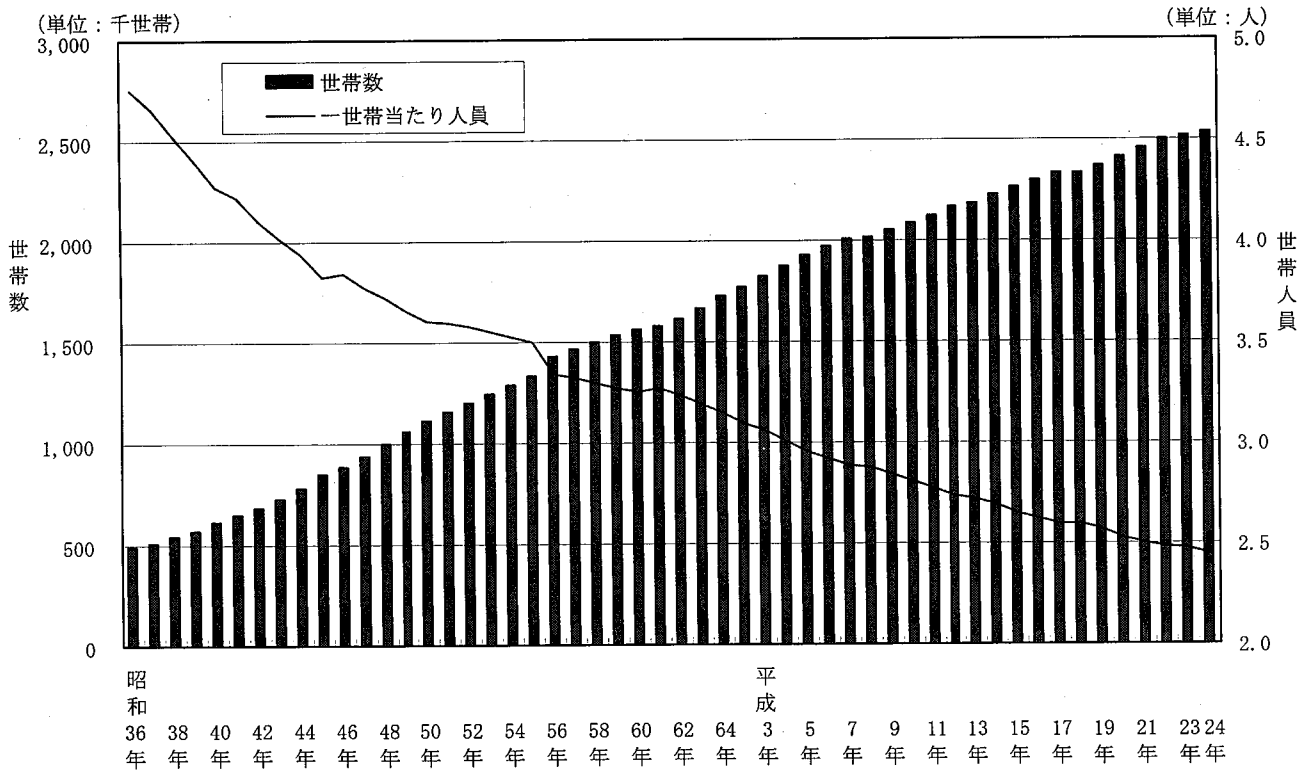
表 4 月別世帯増減数 (平成 23 年中)

(単位：世帯)

	増減数	転入	転出	その他
1月中	-119	5,904	5,791	-232
2月中	-371	6,178	6,587	38
3月中	6,671	17,768	12,587	1,490
4月中	6,007	15,762	11,418	1,663
5月中	2,338	9,076	7,575	837
6月中	759	6,561	6,377	575
7月中	80	6,787	7,141	434
8月中	463	6,908	7,013	568
9月中	452	6,726	6,819	545
10月中	564	6,988	6,739	315
11月中	120	5,976	6,025	169
12月中	-1,413	5,533	6,684	-262
計	15,551	100,167	90,756	6,140

注) その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。

図 7 世帯数及び世帯人員数の推移 (昭和 36 年～平成 24 年、各年 1 月 1 日現在)



6. 県外との人口移動

人口移動総数 34万5千人
移動率 5.56%

平成23年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、345,430人で前年の354,989人に比べ9,559人減少し、移動率（各年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合）は5.56%と、前年の5.73%に比べて0.17ポイント低下した。

1万1千人の転出超過
転入超過率 -0.18%

平成23年中の県外からの転入者数は167,006人（前年183,829人）、転出者数178,424人（同171,160人）で、転入超過数-11,418人（同12,669人）となり、転入超過数は24,087人減少した。

また、平成23年の転入超過率（各年7月1日現在人口に対する転入超過数の割合）は-0.18%と、前年の0.20%に比べて0.38ポイント減少した。

なお、県外との関係は、20道県から転入超過となり、26都府県へ転出超過となっている。

表5 年次別他都道府県間人口移動総数（平成4年～平成23年）

年次	移動数	移動率	転入超過数 (-は転出超過)	転入超過率 (-は転出超過)	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
平成4年	437,491人	7.70%	38,413人	0.68%	237,952人	199,539人	5,680,470人
5年	434,997	7.58	30,987	0.54	232,992	202,005	5,735,511
6年	430,738	7.45	14,586	0.25	222,662	208,076	5,781,768
7年	421,118	7.24	10,278	0.18	215,698	205,420	5,816,032
8年	411,860	7.08	6,586	0.11	209,223	202,637	5,818,369
9年	410,182	7.01	7,980	0.14	209,081	201,101	5,849,014
10年	409,201	6.96	12,443	0.21	210,822	198,379	5,880,299
11年	400,780	6.78	15,562	0.26	208,171	192,609	5,910,682
12年	402,748	6.78	13,754	0.23	208,251	194,497	5,943,886
13年	405,122	6.80	20,620	0.35	212,871	192,251	5,953,852
14年	392,787	6.55	17,385	0.29	205,086	187,701	5,992,362
15年	397,319	6.60	16,827	0.28	207,073	190,246	6,020,313
16年	384,037	6.35	6,233	0.10	195,135	188,902	6,048,643
17年	382,865	6.32	9,173	0.15	196,019	186,846	6,059,169
18年	380,885	6.27	14,845	0.24	197,865	183,020	6,073,549
19年	381,227	6.25	25,649	0.42	203,438	177,789	6,102,892
20年	376,061	6.13	30,077	0.49	203,069	172,992	6,139,750
21年	368,613	5.97	26,341	0.43	197,477	171,136	6,177,586
22年	354,989	5.73	12,669	0.20	183,829	171,160	6,199,614
23年	345,430	5.56	-11,418	-0.18	167,006	178,424	6,215,256

表6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県（平成19年～平成23年）

順位	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	北海道	2,415人	北海道	2,629人	北海道	2,325人	大阪府	1,374人	福島県	1,753人
2	埼玉県	2,025	大阪府	1,779	大阪府	1,663	北海道	1,120	宮城県	898
3	大阪府	1,623	埼玉県	1,641	宮城県	1,192	福岡県	951	茨城県	781
4	福岡県	1,479	宮城県	1,396	福岡県	1,156	愛知県	936	岩手県	523
5	宮城県	1,311	福岡県	1,359	埼玉県	1,141	兵庫県	922	青森県	462
順位	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	東京都	1,545人					東京都	941人	東京都	6,901人
2	神奈川県	442					茨城県	72	国外	1,916
3									神奈川県	1,273
4									埼玉県	1,020
5									福岡県	408